

平成23年度 真田地域自治センターの課題・目標一覧表

課等名	課題・目標	対象	いつまで	内 容
地域振興課	1 地域協議会の運営支援と活動状況の発信	真田地域協議会	年度末	(1) 地域協議会の調査研究活動を支援するとともに、地域住民の意見や要望を反映できるよう運営を支援する。また、協議会の活動状況について、自治センターだよりなどで、積極的に発信する。 (2) 地域特性を生かした魅力ある住みやすいまちづくりを進めるため、地域協議会と地域づくり委員会の連携を図るため、地域づくり委員会の主体である自治会(連合会)との協議をすすめる。
	2 地域防災体制の整備	自治会・市民	年度末	災害に向けた真田地域自治センターの初動体制を整え、災害時の対応にあたる。緊急速報、防災情報の収集にあたり、地域住民に的確に情報を伝達する。大規模災害対策で、自主防災組織を中心とした地域防災力の強化(自助・共助)が必要であり、緊急時の対応等について検討する。
	3 真田有線放送電話事業の安定運営	真田有線放送電話	年度末	放送電話設備は平成2年度の更新から年数が経過し、老朽化に伴う障害がしばしば発生していることから、設備の安定的な運営に努めるとともに、障害の際は早急な対応を行い、加入者への影響を最小限に抑えるようにする。また、番組構成の充実を図りより身近な話題の提供を行う。
市民生活課	1 不法投棄によるごみの減量化	自治会・市民	年度末	道路沿い等の公共用地、道路に隣接する田畑、空き地や山林への不法投棄が増加傾向にある。真田地域において平成22年度の不法投棄されたごみの処理量は、およそ4トンであった。不法投棄される原因の一つに農地の遊休荒廃化があり、ごみを捨てられない環境づくりが求められている。 環境美化監視員による監視や捨てられない環境づくりの啓発活動を通じて、ごみの不法投棄防止・減量を目指す。
	2 アレチウリ・ブタクサ駆除	自治会・市民	年度末	前年度も同様の課題として掲げたが、まだまだ駆除できてない現状があり、駆除が求められている。 今年度も引き続き、自治会と協働による駆除をお願いするとともに、市有地については関係部署と連携し、駆除を積極的に推進する。 真田地域の市有地・河川敷等駆除面積の目標70ヘクタール
	3 市民窓口サービスの更なる向上	市民・来庁者	通年	誰もが気軽に立ち寄れる市民のための窓口を目指し、気持ちよく目的が達成できるよう「おもてなし」の心の更なる醸成を図る。 また、庁舎内の案内も含め、さまざまな要望について、お客様が満足感していただけるよう接遇の向上を図る
健康福祉課	1 災害時要援護者登録制度の推進	高齢者、障害者等	年度末	要援護者登録制度を推進し、住民支え合いの心の醸成を図る。 実施自治会増への取り組み 民生児童委員協議会・自治会・社会福祉協議会との連携の強化 地域の見守り活動と並行できるよう事業を進める。また、多くの方に加入していただくよう地元自治会等と協力して加入促進に努める。
	2 特定健診等の受診率と特定保健指導受講者数の向上	国保被保険者等	年度末	国保被保険者に対して特定健診受診の必要性についての啓発及び未受診者への受診勧奨行ない受診率の目標を57%に設定する。また、特定保健指導が効果的に行えるよう指導計画を策定して検査値の改善に努め、特定保健指導実施率を46%に設定する。保健指導計画の策定にあたっては、真田地域内の資源を生かし、住民全体の健康づくりに結びつくような体制作りを検討していく。
	3 対象者に対して円滑な相談支援活動を行う。	当地域第1号被保険者	年度末	市からの委託を受けて社協で実施している、真田地域包括支援センター(包括)の職員との連携を深め円滑な相談支援活動を行う。 ・包括の職員が早く現場になれるよう支援する。 ・情報共有、事例検討のために、包括との定期的な連絡会を開催し、円滑な相談支援につなげる。 ・係員は包括の3職種との連絡を密にする。
産業観光課	1 真田地域の観光・農業振興戦略プランの策定	真田地域	10月	昨年度立ち上げた観光・農業ビジョン策定委員会による真田地域(菅平を除く。)の将来に向けたビジョンを検討し、具体的な戦略プランを策定する。 観光・農業それぞれのプランを持ち寄り、真田地域の観光・農業振興戦略プランとしてまとめ、地域協議会に報告する。
	2 歴史館特別展とゆきむら夢工房を拠点とした観光振興	真田地域	年度末	7月下旬から8月末日まで、歴史館において特別展を開催する。常田軍三氏が所有する真田氏関連史跡の写真を解説を付けて展示し、近年の戦国歴史ブームで大幅に増過してきている観光客の更なる誘客を図る。また、ゆきむら夢工房といえまや住民や観光客は周辺観光案内の拠点というイメージが芽生えつつある。そこでさらに観光事業を充実させ人・物・事の交流を活性化させる。具体的には、 ・真田氏の史跡を案内するボランティアグループ「語部・ガイドの会」の設立に向けて関係団体と協議、準備を進める。 ・歴史館から真田氏館跡を含めた御屋敷公園の一体的な整備計画を作成し、(散策道ルートの検討)順次整備を実施する。

課等名		課題・目標	対象	いつまで	内 容
産業観光課	3	農業者戸別所得補償制度の啓発と推進	真田地域の 水田農家	年度末	前年度は、米に対する助成と水田転作の麦・大豆・そば等に対する水田活用所得補償モデルが実施され、H23から水田の他に畑で作る麦・大豆・そばも対象として畑作物の所得補償が追加される。昨年度から開始され、新たに追加される項目もあること、国の今後の動向にも注視が必要なこと等、農家への周知を図り、制度について理解を深めてもらい、食料自給率の向上と農業の多目的機能の維持を目指す。
建設課	1	公共交通(バス運行)の改善	全路線	年度末	・路線バスアンケート結果を評価・検証し、5月の「地域だより」に掲載します。 ・真田地域の公共交通利用促進のため、7月を目途に協議会の準備会を設立します。 ・真田地域協議会第2分科会において、地域公共交通の一定の方向性の結論を得るため資料提供します。
	2	市道整備、まちづくり事業計画の推進	対象地域	年度末	・辺地対策事業の促進を図ります。 燕線：工事は9月末までに発注、用地買収は12月までに契約を完了。 原野地2号線：工事は9月末までに発注、用地買収は12月までに契約を完了。 ・市道・河川工事により、地域内の環境整備を図ります。 地元要望を重点に9月までに当初予算(47,000千円)の60%を発注。 準用河川等は、12月までに工事発注。 ・まちづくり交付金事業計画の庁内プロジェクトを4月に立ち上げ、実施計画の事業内容の検討を行いません。
	3	地籍調査の促進	対象地域	年度末	・長地区の地籍調査を進めます。 長13区(0.06km ²)：平成23年6月までに認証申請。 長14区(0.06km ²)：平成24年1月までに閲覧を完了し、年度内に認証申請。 長15区(0.07km ²)：一筆立会は平成23年11月までに終了。
上下水道課	1	安全、安心なおいしい水の供給	水道水の安全の維持	年度末	蛇口から安心して飲めるおいしい水を供給する。 ・水源及び浄水施設の適正な管理 ・土屋水源の活用を検討 ・既設水源の改修工事の実施 ・漏水調査の実施 ・配水管布設、老朽管の布設替えの実施
	2	収納率等の改善	上下水道使用料	年度末	料金使用料で経営している企業であることを認識し、収納率の向上に努める。 ・現年度使用料収納率の向上：99% ・新規加入者の口座振替の推進：80%
	3	快適な生活環境	水洗化率の向上	年度末	・水洗化戸数の増：20戸 ・処理場施設の維持管理における不明水調査と対策 ・事業所等からの排水水質対策と指導
教育事務所	1	公民館を中心とした文化活動の推進	市民	年度末	文化団体の活動や文化協会主催による文化講演会、真田総合文化祭等の支援を図る。 また、地域住民の文化活動への参加促進と文化意識の向上を図る。
	2	スポーツ振興の推進	市民	年度末	スポーツクラブとの連携によるスポーツの推進、支援を図り、スポーツ振興の充実に努める。
	3	青少年健全育成の推進と公民館学級の充実	真田地域住民	年度末	青少年健全育成の体制強化と事業推進を図る。また、生涯学習の推進を行うため、幅広い年齢層を対象とした公民館学級の充実を図る。
真田消防課	1	消防施設・設備の計画的な整備	対象地域	年度末	・地域の水利施設の設置状況を考慮し、防火水槽及び消火栓の改修、更新を行い消防水利の向上を図る。 ・上田市消防団の各分団に配備されている小型ポンプの更新
	2	住宅防火の対策強化	一般住宅	年度末	・住宅火災で発生する死傷者を減少させるため、住宅用火災警報器の設置を推進する。 ・各種イベント、さなだみんなの生活展、防火訪問、各種講習会における設置広報等の実施
	3	分団拠点施設の整備方針の協議	消防団・第7方面隊	年度末	分団が主体となり分団を構成する自治会と協議されている分団拠点施設(分団詰所)の整備方針についてサポートをする。 ・分団詰所の建設に伴う調整協議 ・分団へ配置する車両及び配置場所の再検討 ・分団詰所整備後における、既存資機材庫(車庫)・警鐘楼の管理方法について